

平成29年度 地域交流

1 現在地と目的地

他人との関係性、社会との関係性、自然環境との関係性を認識し、「関わり」「つながり」を尊重できる生き方。(ESDの考え方)



地域の産業、伝統文化、自然環境との関わりを通じた多くの人との出会い。「社会の接点での学び」の充実

学級、学校内の少人数の固定した人間関係の中での生活では、多様な生き方や考え方との出会いに限界がある。もっと多くの人との関わりの中で多様性を認識する必要がある。

目的地



現在地

すべての子どもが社会に出て自立して生きていく力をつけることができる教育の確立



2 地域交流の実際

- | | |
|-----------------|---------------|
| (1) 地域の産業を学ぶ | ～蚕の飼育を通して～ |
| (2) 地域の伝統文化を学ぶ | ～太鼓・茶など～ |
| (3) 地域行事への主体的参加 | ～ナイトハイク・町駅伝～ |
| (4) 地域の達人に学ぶ | ～茶・森林・農業・道の駅～ |
| (5) 社会人講座 | ～生き方を学ぶ～ |
| (6) 様々な活動 | ～ボランティア活動～ |

自分と違う人もいる。
(多様性を認める)
個々人の「違い」を尊重し受け入れる。
「違い」に価値を見つける。



ダイバーシティの基本概念

(1) 地域の産業に学ぶ ～蚕の飼育を通して～

9月、生徒は、蚕と対面しました。最初はおそろおそろ触っていましたが、慣れてくると桑を食べさせたり、間近で観察するなど、とても興味深そうです。これから毎日飼育しながら観察していきます。



山鹿シルク職員の方には「蚕の育て方と山鹿シルク」についてお話をいただきました。山鹿市役所職員の方からは「これからの山鹿市の養蚕について、天空桑園にかける思いを伝えていただきました。お二方ともとても熱く生徒に語ってくださいました。夢を追いかける姿、夢に向かって挑戦する思いが伝わってきました。



多くの蚕がまゆを作りました。しかし、あともう少しの蚕もいます。新鮮な桑を用意すると元気に食べ始めます。命は一つ一つ成長のスピードが違うことを実感させられます。

今、1年生が取り組んでいる「蚕の飼育」は、鹿北町の産業について知るとともに、命を感じることを、命を育むことを通して、命の尊さを見つめることも大きな目的の一つです。



新シルク蚕業サミット in やまが

11月9日(木)山鹿市民交流センターにて「2017 新シルク蚕業サミット in やまが」が開催されました。このサミットは、蚕糸業・シルク産業に関わる新たな開発に向けた様々な取組や、課題、将来性などを明らかにし、ジャパン・ブランド・シルクの復活と未来のシルク産業創生を目的としたものです。そして、このサミットに鹿北中学校1年生が出席し、養蚕ワークショップの体験発表を行いました。



「夢を紡ぐカイコ」との題で、カイコを育てることを通して感じたことや調べたことなどを発表しました。

満員の会場の中、堂々と発表する姿が見られました。鹿北にとって、これからさらに関係が深くなっていくカイコ。これからも学びを続けていきたいと考えています。



(2) 地域の伝統文化に学ぶ ～太鼓・茶など～

太鼓にかける思いを学ぶ

体育館にて太鼓の練習を行いました。地域の方々にご指導していただき、暑い中でしたが、一生懸命練習を行いました。小学校6年生の時に習った太鼓。ちゃんと覚えていて感動しました！

8月19日(土)にオーストラリアのクーマから来られる方々に披露するために、練習を重ねていきます。



お茶を通して生き方を学ぶ

岳間茶の歴史や特色、お茶に関する様々な知識、気候や自然と人々の暮らしについて講話をしていただきました。特に、伝統を守りつつ常に新しいことにチャレンジしている生き方は大きな刺激を与えてくださいました。



(3) 地域行事への主体的参加 ～ナイトハイク・町駅伝～

ナイトハイク

少しでも町の役に立ちたいと、今年
は、イベントへの参加はもちろん、ポス
ター作成や企画の提案などに携わって
きました。生徒が作成したポスターは、
町の様々な場所に掲示されています。



鹿北町駅伝ポスターを作りました



すっかり暗くなった鹿北町体育館前での開会式、そして、出発です。コースは鹿北市民センターから
旧岳間小学校経由、鹿北市民センターゴールの約15km。

鹿北市民センターには、23時までには、鹿北中の生徒、先生が無事に到着。市民センター内でいた
だいたぜんざいとつけものは最高の味でした。地域の方々といっしょになってのイベント。笑顔と歓声
があふれ、きつかったけれど、充実した時間となりました。



(4) 地域の達人に学ぶ ～茶・森林・農業・道の駅駅長さん～

「仕事の流儀 ～生き方を見つめて～」と題して、鹿北の
達人の方々からお話をうかがいました。

鹿北の達人の方々

- ◇ 山を極める……鹿本森林組合の北原さん
- ◇ 鹿北を極める……アグリファーム未来の太田黒さん
- ◇ お茶を極める……岳間製茶の中満さん
- ◇ 道の駅を極める……道の駅の黒川駅長さん
- ◇ 郷土料理を極める……生活研究グループ3名の方々

鹿北の達人の方々から、働く目的や意義、仕事をする上
で大切にしていること、仕事をするようになるまでに身につ
けておくべきことなど、たくさんのお話をさせていただきました。



(5) 社会人講座 ～生き方を学ぶ～

今日の講師は、旅行会社の方です。本校の修学旅行で毎年お世話になっています。今日は、仕事での様々なエピソードを交えて「働くことの意味」「失敗から学ぶこと」など興味深いお話をしていただきました。いつも、てきぱき仕事をされる姿が目には焼きついているので、失敗談はとて意外でした。しかし、その失敗を自分の成長に生かしていく姿勢、先輩からの指導を実践に生かしていく姿勢など、人としての生き方の基礎基本を学ばせていただきました。



今日は、まほろば保育園の園長先生の講話です。40年間、子どもの笑顔に支えられてきました。だから、きつと思ったことは一度もない、休んだこともありません、とのお話に仕事に対する真摯な姿勢と子どもへの深い愛情が伝わってきました。心がけていることは、楽しく仕事をすることで、先生たちが楽しくなければ子どもは楽しくないとお話にも先生の仕事に対する思いが感じられました。



今日は、卒業生講話です。高校時代の恩師の先生の影響を強く受けていること、その先生から「おまえは面倒見が良い。そして、人にちゃんと意見が言える。そんな人が今の時代大切なんだ」との言葉が、教育への道を目指す原点となっているというお話が印象に残りました。人との出会いの大切さを感じました。教員試験に合格して、また必ず戻ってきます。との言葉に強い決意が込められていました。



(6) 様々な活動 ～ボランティア活動～



一人暮らしの高齢者の方々への年賀状



茶山唄から



かほくまつりへ

地域から頼りにされている鹿北中生